

GWにおける豚熱・アフリカ豚熱等への防疫対策を徹底しましょう

豚熱(CSF)について

国内では、ワクチン接種農場においても豚熱の発生が確認されていることから、引き続き警戒が必要です。また、**岩手県中央地域(雫石市)**、**秋田県南部(横手市)**でも豚熱に感染した野生イノシシが確認されており、**県内への侵入リスクは非常に高い状況**です。

アフリカ豚熱(ASF)について

現時点では国内では確認されていませんが、アジアやロシアをはじめとする全世界で流行が続いています。国内に病原体を侵入させないための対策が重要になります。

ゴールデンウィークを迎えるにあたり、**飼養衛生管理基準を遵守**と、**防疫対策を引き続き徹底**してください。

農場を守るために

- ① 海外渡航の自粛・肉製品の国内への持ち込み禁止
- ② 病原体の持ち込みの防止



- ・必要のない者を衛生管理区域や畜舎に立ち入らせない。(看板の設置等)
- ・不要な物を持ち込まない
- ・衛生管理区域もしくは畜舎に立ち入る場合、又は物を持ち込む場合には、**手指の消毒、専用の作業着と靴の着用、物品の消毒等**を行う
- ・消毒薬の適度な濃度での使用と定期的な交換
- ・**野生動物の侵入防止対策**の徹底(防護柵・防鳥ネットの設置、周辺の除草 など)

- ③ 毎日の健康観察
- ④ 異状の早期発見・早期通報



CSF (豚熱)

直近2023年3月 茨城県で発生

同一豚房 (豚舎) 内で以下の症状を呈した豚の増加が見られる

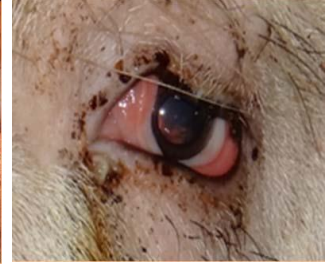
- ・耳翼や四肢の紫斑
- ・40°C以上の発熱
- ・便秘下痢、血便
- ・結膜炎
- ・歩行困難、後躯麻痺
- ・流死産
- ・皮下出血、紅斑



元気がない



耳翼・四肢の紫斑



結膜炎

写真出典：岐阜県

ASF (アフリカ豚熱)

アジア諸国で発生確認



チアノーゼ



肛門の出血

病状は多岐に渡り、甚急性、急性、亜急性、慢性の症状を示す。甚急性では**突然死亡**、急性では**発熱 (40~42°C)**、**皮下出血**、**ひ臓の腫大**、**粘血便**、**チアノーゼ**等を呈し、死亡率は100%に近い。

写真出典：国立研究開発法人農業食品産業技術総合研究機構動物衛生研究部門

FMD (口蹄疫)

39°C以上の発熱

- ・泡状のよだれ
- ・歩き方がおかしい
- ・起立できない
- ・泌乳停止あるいは乳量の大幅減少

いずれかの症状を示し

口の中、唇、鼻、蹄、乳房のいずれかに水疱、びらん、潰瘍または痂痕がみられる。



蹄球部皮膚のびらん、潰瘍



鼻端の水疱



鼻平面の潰瘍



乳房、乳頭の水疱、びらん、痂皮

写真出典：宮崎県

飼養している家畜に異状が見られた場合には、直ちに獣医師、または[家畜保健衛生所](#)にご連絡ください。

★むつ家畜保健衛生所

〒035-0072

むつ市金谷二丁目1 8-25

夜間及び休日の連絡先：090-5841-6810

電話：0175-22-1254

FAX：0175-22-1259

